

平成 22 年 10 月 奄美豪雨災害の検証 (記録誌)



平成 25 年 3 月
奄 美 市

「平成 22 年 10 月奄美豪雨災害の検証（記録誌）」の発刊にあたって



平成 22 年 10 月に発生した記録的な集中豪雨は河川の氾濫や土砂災害が市内各地で発生したことにより、道路交通網のみならず情報通信網が同時多発的に途絶する等、台風による災害を多く経験する奄美でも、これまでに経験したことのない大災害となりました。

この奄美豪雨災害によって、本市では 2 名の尊い生命が犠牲となった他、約 800 棟近い住家被害、農林水産業や商工・観光業の被害、ライフラインや公共施設の被害等、大きな爪痕を残しました。

犠牲になられた方々に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

これらの被害に対し、災害発生直後から国・県・全国各地の自治体をはじめ、企業・団体・個人等の皆様から多くのご支援をいただきましたことは、心身ともに疲弊した被災者の励ましとなり、早期の復旧・復興を目指す本市ならびに市民にとりまして、大変大きな力となりました。改めてここに衷心より感謝申し上げます。

奄美豪雨災害では、先人から受け継いだ「結いの精神」によって地域住民による災害時要援護者の避難支援や、初期段階の災害復旧支援等の「共助」が各地で行われ、居住地域における人と人の繋がりの重要性が改めて認識されたところでもあります。また、情報通信が途絶する中、地域コミュニティ FM による 24 時間体制での災害情報の提供が多くの市民の情報源となり、さらには大きな心の支えになる等、災害時における地域コミュニティ FM の必要性が認められました。

本市では、今後とも災害に強い情報連絡体制の構築や防災啓発、防災訓練等をはじめ、安全・安心な地域づくりの推進に引き続き努めてまいります。

最後に、「平成 22 年 10 月奄美豪雨災害」によって得られた知見・教訓・課題等が市民の皆様幅広く活用され、また将来にわたる防災対策の一助となりますことを願い、発刊にあたってのご挨拶といたします。

平成 25 年 3 月

奄美市長 朝山 毅

目 次

ページ

1.	気象状況 >>> P1~4	
2.	災害の時系列概要 >>> P5~12	
3.	被害状況 >>> P13~28	
(1)	人的被害	13
(2)	家屋被害	13
(3)	ライフラインの被害	15
①	電 気	
②	水 道	
③	ガス設備	
④	情報通信	
(4)	公共建設関係施設の被害	17
①	道 路	
②	河 川	
③	市営住宅	
④	都市公園	
(5)	農林水産施設の被害	20
①	農 業	
②	林 業	
③	水産業	
(6)	商工観光業施設等の被害	22
①	施設・設備・商品等	
(7)	保健福祉施設の被害	22
①	国民健康保険診療所	
②	高齢者施設	
③	保 育 所	
(8)	文教施設の被害	24
①	学校施設	
②	教職員住宅	
③	文化財施設	
④	その他施設	
(9)	交通機関	25
①	航空路	
②	航 路	

	③ バス路線	
(10)	公共施設被害額	26
4.	災害の対応状況 >>> P29~40	
(1)	初動体制	29
(2)	避難勧告等	31
(3)	情報収集, 伝達	32
(4)	避難所の運営	37
	① 避難所	
	② 奄美体験交流館	
5.	各種被災者支援 >>> P41~54	
(1)	奄美市	41
(2)	国・県等	45
	① 国の支援	
	② 県の支援	
(3)	各種団体	49
	① ボランティア支援	
	② 建設関連支援	
	③ 電気通信関連支援	
	④ 義援金・義援物資	
	⑤ 医療・福祉支援	
6.	防災対策等に関する課題と提言 >>> P55~64	
○	奄美大島情報通信体制等検証委員会	55
○	鹿児島大学奄美豪雨災害調査委員会	57
○	九州大学奄美大島豪雨災害調査団	61
7.	その他関連資料 >>> P65~96	
(1)	アンケート結果	65
(2)	奄美豪雨災害に関する報道記事	88
(3)	地域からの声	93
(4)	表彰関係	94
(5)	過去の主な災害	95